

會報

令和6年6月22日 発行

第 81 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 大江 隆史

発行所：事務局 新井 嘉容

〒322-8588 埼玉県川口市西川口5-11-5

済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会

電 話 048-253-1551

F A X 048-256-5703

春に思うこと

NTT東日本関東病院 院長

大江 隆史

桜を長く楽しめた春である。新年度が始まる春であるが、診療報酬改定の春でもある。病院経営者ではもちろんの事であるが、整形外科の責任者でもその影響が気になるところであろう。今回の改訂は手術を多くする病院には悪くない改訂であると言われている。果たして整形外科手術をする病院ではどうであろうか？DPC病院であれば、最近では便利なツールがあり、例えば私の所属する病院が契約しているツールでは、昨年と全く同じだけの手術をした時の改訂前後のシミュレーションができる。整形外科入院料でも、手術技術料だけでもシミュレーションができる。そのツールにきいてみた。改訂により当院では年間の入院料が1200万円、手術技術料が270万円程度の増収になるらしい。外科系の中では整形外科は恵まれているようだ。整形外科医を増員すると、収益が上がることは明らかだ。もっとも手術を上手にできる整形外科医であれば、である。

そのためか、手術のできる整形外科医は売り手市場のようで、なかなか増員が難しい。少しでも経営に関心のある人なら同じことを考えるから、当たり前である。雇用される側の勤務医にとって、売り手市場であることは悪くない。なので、整形外科勤務医の未来は明るい無理やりこじつけたくなる。(次頁へ続く)

目次

1. 春に思うこと 大江 隆史 .. 1
2. 明日から使える骨評価AIソフト(椎体骨折・仙骨骨折診断)を用いた骨折1次・2次予防の戦略 ... 斎藤 充 .. 2
3. 頸椎頸髄損傷に対する救命治療戦略..... 井口 浩一 .. 3
4. 令和6年度診療報酬改定の内容報告 平泉 裕 .. 4
5. 令和5年度関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会議事録(令和5年12月16日) ... 8
6. 令和5年度関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会議事録(令和6年3月11日) 12
7. 事務局から 15
8. お知らせ..... 16
9. 入会申し込み書 17

病院にも若い専攻医がローテートしてきて、新年度を感じる。これから整形外科を専門としたい人達の動向が気になる。2024年度の専攻医が2023年度に比べ全体で171人増えたうち、整形外科専攻医は93人も増え、専門分野では最高の増加数となった。私は若い人が増えてくる整形外科の未来は明るいと思うが、隣国ならストライキがおこるのであろうか。彼我の違いに戸惑う春である。

明日から使える骨評価AIソフト（椎体骨折・仙骨骨折診断）を用いた骨折1次・2次予防の戦略

東京慈恵会医科大学 整形外科学講座

齋藤 充

日本は二次骨折予防以前に、骨粗鬆症健診は4%にすぎない。このため、いつの間に代表される骨粗鬆症脆弱骨折は減少していない。治療すべき骨粗鬆症患者の内、80%が診断治療を受けていないという問題点があることを忘れてはいけない。「骨粗鬆症の予防の治療のガイドライン」はあくまで、性ホルモンの減少を主たる病態とする原発性骨粗鬆症を対象にした指針である。しかし加齢と共に生活習慣病罹患（DM、CKD、肝疾患、COPD）など、骨密度とは独立した骨折リスクが上乘せされるため、きめ細やかなリスク評価を行う必要がある。さらに我々は、これまでの骨質研究に加えて、骨粗鬆症AIツールの開発、臨床実装（胸椎・腰椎Xpから椎体骨折診断、仙骨の脆弱生骨折のAI診断）をおこなった。さらに、また新たなエビデンスとして5518人（10～90歳代）のビタミンDの充足状態をELISA測定で弱点を補う全自動LC/MS装置を開発し評価した。若年期から著しいビタミンD欠乏（79%）であることが分かった。質量分析による各種ビタミンD構造体の定量から、こうしたビタミンD欠乏は、食事由来のビタミンDの摂取不足が原因となることが明らかになった。さらにビタミンD不足は、「新たな骨質劣化型骨粗鬆症」を生み出すこともヒト骨生検から見出した。すなわち、健常に見える骨においてもそのコラーゲン基質はビタミンD欠乏による骨軟化症型のコラーゲン異常が混在しているという知見である。性ホルモンの減少は生涯にわたるため、薬剤による骨吸収の抑制は長期にわたり継続する必要がある。骨に長期間結合するBP剤は一時休薬も可能であるが、それ以外の薬剤は治療継続もしくは逐次療法が必要である。最近、人工関節術後の骨粗鬆症対策（ルースニング予防、インプラント周囲骨折予防）として骨粗鬆症治療薬3種によるRCTを行った結果、術後の骨粗鬆症治療により、骨質を低下させることなく、インプラント周囲の骨密度の減少が有意に予防された。人生100年時代の骨粗鬆症治療は骨折予防のみならずインプラントの再置換率の低下や周囲骨折を予防する可能性があると考えられる。骨の材質＝コラーゲンからみた骨質劣化型骨粗鬆症という概念は、基礎および臨床研究でエビデンスを発信してきたが、これまでに国際ジャーナルでの引用された演者論文の被引用数は、6600を越え、ガイドラインにも執筆担当者として臨床現場に還元している。

（骨質＝コラーゲン概念の総説（OI 2010）：被引用数1040、筆頭著者の被引用数3550、共著論文 被引用数6660、2024年3月時

頤椎頤髓損傷に対する救命治療戦略

埼玉医科大学総合医療センター 外傷センター

井口 浩一

頤髓損傷は、脊椎損傷合併の有無、損傷高位、麻痺重症度など、多彩なスペクトラムを持つため、最適な治療法に関するエビデンスは貧弱である。欧米では早期除圧術が有効と考えられる様になってきたが、わが国ではいまだに懐疑的に捉えており、早期除圧術はひろまっていない。頤髓損傷完全麻痺が超早期除圧術により予後が改善するのであれば、わが国の救急システムを再構築し、欧米のような外傷センターのシステムを取り入れる必要がある。

当院では2017年以降、頤髓損傷完全麻痺に対して一貫して緊急後方除圧術を行なってきた。6年間で107例に対し手術を行い、生存退院は104例であった。非骨傷性頤髓損傷47、骨折・脱臼57例で、退院時2段階以上麻痺の改善が見られたものは38%であった。受傷から手術開始までの時間を12時間で区別したところ、2段階以上麻痺が改善した割合は、43 vs 7%であり、直接搬入と転院搬入とでは麻痺改善の割合は51 vs 20%で有意差があった。また、非骨傷性と骨傷性とは、麻痺改善の割合は57 vs 23%で有意差があった。

完全麻痺の38%の症例が退院時2段階以上の改善がみられたことは、これまでの報告より良い数値ではあるが、初回の神経所見のタイミングが異なっているため、比較するのは適切ではない。受傷から12時間以内の手術開始の方が麻痺改善の割合が高かったことから、超早期除圧術が完全麻痺の治療に有用な可能性はあるが、初回神経所見のタイミングによるバイアスは無視できない。直接搬入の麻痺改善が良かったことは、トラウマバイパスの必要性を裏付けることになる。非骨傷性頤髓損傷は一次損傷が小さい場合が多く、超早期除圧術により二次損傷を防ぐことで麻痺改善の割合が大きかったと推測できる。非骨傷性頤髓損傷は高齢者に生じる外傷であり、保存療法が主流であったが、積極的な手術を推しすすめることはこれまでの常識を覆すものである。高齢者の頤髓損傷完全麻痺は全身状態が悪いため超早期除圧術は命懸けの手術になるが、それを実現するためには長期間のICU管理など、救命センターを含めた他診療科との密接な連携が不可欠である。今後、再生医療の実用化に向けて、最善の医療を展開していくためにも、急性期の頤髓損傷治療の進化は重要である。

令和6年度診療報酬改定の内容報告

成城リハビリテーション病院

平泉 裕

今回の診療報酬改定は6月1日から施行される。全体改定率は+0.88%であるが、医療関係職種へのベースアップ実施、入院時の食費引上げ、等を差し引いた医科本体としては+0.52%となった。

手術点数の改定率は平均+100.39%（前回100.43%）で、そのうち**整形外科領域の手術点数は+100.97%（前回100.42%）**と平均を上回った。

詳細については厚生労働省ホームページ（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00045.html）、日本医師会ホームページ（<https://www.med.or.jp/japanese/members/iryo/r06kaitei/>）を参照ください。

項 目	改定前	改定後
A000 初診料	288 点	291 点
注 1 情報通信機器を用いた初診を行った場合	251 点	253 点
注 11 発熱患者等対応加算	(新設)	20 点
注 14 抗菌剤適正使用加算	(新設)	5 点
A001 再診料	73 点	75 点
注 15 発熱患者等対応加算	(新設)	20 点
注 18 抗菌剤適正使用加算	(新設)	5 点
A100 一般病棟入院基本料 入院基本料の見直し		
A101 療養病棟入院基本料 イ～ハ看護補助体制充実加算1～3	(新設)	80～55 点
A108 有床診療所入院基本料 入院基本料の見直し		
A202-2 急性期充実体制加算(1日につき)		
1 急性期充実体制加算1 イ 7日以内の期間 ロ、ハ (略)	460 点	440 点↓
2 急性期充実体制加算2 イ 7日以内の期間 ロ、ハ (略)	(新設)	360 点
A233 リハビリテーション、栄養、口腔連携体制加算	(新設)	120 点
A243-2 バイオ後発品使用体制加算(入院初日)	(新設)	100 点
A253 協力対象施設入所者入院加算(入院初日)		
1 往診が行われた場合	(新設)	600 点
2 1以外の場合	(新設)	200 点
A304 地域包括医療病棟入院料(1日につき)	(新設)	3050 点
A308 回復期リハビリテーション病棟入院料 増点 体制強化加算	300 点	廃止

運動器リハ	上限 9 単位	上限 6 単位
A308-3 地域包括ケア病棟入院料 入院基本料の見直し		
A400 短期滞在手術等基本料		
2 短期滞在手術等基本料3(4泊5日までの場合)		
チ K030 四肢・軀幹部腫瘍摘出術		
2 手、足(手に限る)	16224 点	14667 点↓
リ K046 骨折観血的手術		
2 前腕、下腿、手舟状骨(手舟状骨に限る)	32937 点	36240 点↑
ヌ K048 骨内異物除去術		
3 前腕、下腿(前腕に限る)	20611 点	19082 点↓
ル K048 骨内異物除去術		
4 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他(鎖骨に限る)	21057 点	20549 点↓
ヲ K048 骨内異物除去術		
4 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他(手に限る)	15180 点	14893 点↓
ワ K070 ガングリオン摘出術		
1 手、足、指(手、足)(手に限る)	13878 点	13653 点↓
カ 関節鏡下手根管開放手術	17621 点	18038 点↑
B001 特定疾患治療管理料 高血圧、糖尿病、脂質異常症の除外		
B001-3-3 生活習慣病管理料(Ⅱ)	(新設)	333 点
C004-2 救急患者連携搬送料		
1 入院中の患者以外の患者の場合	(新設)	1800 点
2 入院初日の患者の場合	(新設)	1200 点
3、4 (略)		
D007 血液化学検査		
28 KL-6	111 点	108 点↓
D008 内分泌学的検査		
26 骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	161 点	157 点↓
28 P1NP	164 点	160 点↓
D014 自己抗体検査		
24 抗 CCP 抗体	198 点	193 点↓
D400 血液採取(1静脈)	37 点	40 点↑
D403 腰椎穿刺、胸椎穿刺、頸椎穿刺	220 点	260 点↑
F 投薬		
F400 処方箋料		
注4 特定疾患処方管理料(リフィル処方箋の複数回使用)	(新設)	56 点
注6 イ 一般名処方加算1	7 点	10 点↑
ロ 一般名処方加算2	5 点	8 点↑
注8 保険薬局が当該保険医療機関から集中的に処方箋を受けたり、不動産取引等の特別な関係を有する場合は、それぞれ 18 点、29 点又は 42 点を算定する。	(新設)	
G000 皮内、皮下及び筋肉内注射	22 点	25 点↑
G001 静脈内注射	34 点	37 点↑
G004 点滴注射		

2	1に掲げる者(6歳未満の乳幼児)以外の者に対するもの(1日分の注射量が500mL以上の場合)	99点	102点↑
3	その他の場合(入院中の患者以外の患者に限る)	50点	53点↑
G007	腱鞘内注射	27点	42点↑
G010-2	滑液嚢穿刺後の注入	80点	100点↑
H002	運動器リハビリテーション料		
注2	早期リハビリテーション加算	30点	25点↓
注4	急性期リハビリテーション加算(1単位につき、14日を限度)	(新設)	50点
H003-3	リハビリテーション計画提供料		(削除)
J001-7	爪甲除去(麻酔を要しないもの)	60点	70点↑
J116-2	粘(滑)液嚢穿刺注入(片側)	80点	100点↑
第10部 手術			
通則21	再製造単回使用医療機器使用加算	(新設)	
当該特定保険医療材料の所定点数の100分の10に相当する点数			
K000	創傷処理		
3	筋肉、臓器に達するもの(長径10cm以上)		
ロ	その他のもの	2690点	3090点↑
K000-2	小児創傷処理(6歳未満)		
3	筋肉、臓器に達するもの(長径5cm以上10cm未満)	2490点	2860点↑
4	筋肉、臓器に達するもの(長径10cm以上)	3840点	4410点↑
K001	皮膚切開術		
3	長径20cm以上	1980点	2270点↑
K002	デブリードマン		
1	100平方cm未満	1410点	1620点↑
K005	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)		
3	長径4cm以上	4360点	5010点↑
K028	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)	2050点	2350点↑
K030	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術		
1	肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	7390点	8490点↑
K031	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍摘出術		
1	肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	24130点	27740点↑
K044	骨折非観血的整復術		
1	肩甲骨、上腕、大腿	1600点	1840点↑
2	前腕、下腿、	1780点	2040点↑
K046	骨折観血的手術		
1	肩甲骨、上腕、大腿	18810点	21630点↑
2	前腕、下腿、手舟状骨	15980点	18370点↑
K051-2	中手骨又は中足骨摘出術(2本以上)	5160点	5930点↑
K053	骨悪性腫瘍手術		
1	肩甲骨、上腕、大腿	36460点	36600点↑
2	前腕、下腿	32040点	35000点↑
3	鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	22010点	25310点↑

K053-2	骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)		
1	2cm以内のもの	(新設)	15000点
2	2cmを超えるもの	(新設)	21960点
K055-4	大腿骨遠位骨切り術	(新設)	33830点
K069-4	関節鏡下半月板制動術	(新設)	21700点
K076-3	関節鏡下肩関節授動術(関節鏡下肩腱板断裂手術を伴うもの)	(新設)	54810点
K077-2	肩甲骨烏口突起移行術	(新設)	27380点
K080-5	関節鏡下肩関節形成術(肩甲骨烏口突起移行術を伴うもの)	(新設)	46370点
K082-7	人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	(新設)	43260点
K090	ひょう疽手術		
2	骨、関節のもの	1280点	1470点↑
K098	手掌屈筋腱縫合術		(削除)
K117	脊椎脱臼非観血的整復術	2570点	2950点↑
K117-2	頸椎非観血的整復術	2570点	2950点↑
K120-2	恥骨結合離開非観血的整復固定術	1580点	1810点↑
K121	骨盤骨折非観血的整復術	2570点	2950点↑
K126	脊椎、骨盤骨(軟骨)組織採取術		
1	棘突起、骨盤翼	3150点	3620点↑
K142-5	内視鏡下椎弓形成術		
注 2椎弓以上の場合、1椎弓増すごとに所定点数の100分の50に相当する点数を加算。			
ただし、加算は4椎弓を超えない。			
通則 14 追加:内視鏡下椎弓形成術と内視鏡下椎間板切除術および内視鏡下椎弓切除術の併施			
K055-4 大腿骨遠位骨切り術とK054-2 脛骨近位骨切り術の併施			
K190	脊髄刺激装置埋込術		
1	脊髄刺激電極を留置した場合	24200点	27830点↑
K196-6	末梢神経ラジオ波焼灼療法(一連として)	(新設)	15000点
L104	トリガーポイント注射	80点	70点↓
第14部 その他 第2節 ベースアップ評価料			
0100	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)(1日につき)		
1	初診時	(新設)	6点
2	再診時等	(新設)	2点
3	訪問診療時		
イ	同一建物居住者等以外の場合	(新設)	28点
ロ	イ以外の場合	(新設)	7点
0101	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅱ)(1日につき)		
1	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅱ)		
イ	初診又は訪問診療を行った場合	(新設)	8点
ロ	再診時等	(新設)	1点
2~8	(略)		
0102	入院ベースアップ評価料(1日につき)		
1	入院ベースアップ評価料1	(新設)	1点
2~165	(略)		

令和5年度関東地区整形外科 勤務医会 幹事・常任幹事会 議事録

日時：2023年12月16日(土曜日) 14:30～15:30

場所：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店 会議室
(新宿アイランドウイング 11階)

出席者：

浅野 聡、新井 嘉容、泉田 良一、伊室 貴、
江畑 功、大江 隆史、大野 隆一、鎌田 修博、
亀山 真、楠瀬 浩一、児玉 隆夫、坂根 正孝、
進藤 重雄、杉山 肇、田尻 康人、辰巳 徹志
戸野塚 久紘、中尾 祐介、中川 照彦、長瀬 寅、
西本 和正、新関 祐美、萩原 敬一、林 淳慈、
原田 義忠、原 慶宏、東川 晶郎、平泉 裕、
福田 健太郎、別府 保男、堀内 行雄、眞塩 清、
松原 正明、三上 容司、村松 俊樹、望月 智之、
森岡 秀夫、山縣 正庸、吉田 英彰、若林 良明
(40名：五十音順、敬称略)

【報告事項】

1 理事会報告

大江先生より報告

- ・第1号議案 令和5年度奨励賞選考結果及び会告案の承認の件：3名を令和5年度奨励賞受賞者に決定し第97回学術総会で発表

[基礎研究]

- ・河田 学 (Scripps Research)
- ・中道 亮 (Scripps Research/東京医科歯科大学/岡山大学)

[臨床研究]

- ・吉田繁央 (京都大学)
- ・各種委員会等報告
- ・令和5年度第4回学術集会運営委員会 (10/18)
各学術集会の進捗状況を確認
97回総会では口演の採択率が低くなることから無断欠席した場合は、筆頭演者は翌年の総会に応募できないペナルティを試行する
- ・令和5年度第3回教育研修委員会メール審議 (10/26-31)
情報システム改修に伴い30分×2演者、40分×3

演者の講演における単位について2つあるいは3つの演題に共通する分野が2つあれば、主催者はその分野を申請可能とすることについて、理事会で審議した結果、申請可能とすることを承認

- ・令和5年度第2回社会保険等委員会 (11/1)
日本メドトロニック社モルヒネ髄注療法に関する適正使用指針案について、理事会で審議した結果、過去の経緯も含め社会保険等委員会及び医薬品・医療機器評価委員会の内容を確認し再度審議
- ・学術集会ホームページに係るドメインの扱い
山本仁事務局長から学術集会ホームページのドメイン名廃止による転用防止対策について説明
既に独自ドメインを取得して公開されているホームページは対象外とするが今後はコンベンション会社のドメイン内に開設することを3学術集会会長に周知し引き継いでいくことが報告
売却された中古ドメインが違った方向に使用されることがあるので、注意が必要
- ・ビデオリブラリWG報告 (10/18)
制作マニュアルを作成し21本の動画の21本の動画を制作することが報告
若い先生方に向けて作成
社会に向けてアピール：ロコモ、脆弱性骨折、スポーツ

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・会報第80号を発行、送付
- ・ホームページを一部更新

3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

・記者説明会連動イベント (魚ジャパンフェス in お台場) 開催報告

- 11月23日～26日にお台場で行われた魚ジャパンフェス出展について報告
- ・4日間のうち、3日間は天気にも恵まれ会場にはカップルや家族連れ等幅広い層が多く来場
 - ・合計来場者数：17.2万人
 - ・ブースで合計638名の方にたちあがりテストなどを体験頂いた
 - ・約5,000名の方へPRティッシュのサンプリングを行った
 - ・新しいアプローチとして、食の分野は親和性があり啓発効果があった

・ロコモカレンダー製作について

- ・ロコモカレンダーについてご報告
- ・栄養（食品摂取多様性スコア）にフォーカスを当て、栄養WGの先生方にコメントを頂いて制作、現在印刷に入っている
- ・12月に入ってから、ロコモ予防カレンダー発行のリリースを出して、ニュースメイクをしたい
- ・一部1,500円（※事務局修正）で販売をしたいと考えており、自治体等にもご案内をする

・ロコモサミットについて

- ・2024/3/9開催
- ・ロコモパンフレット修正について（手術マーク追加）
 - ・“ロコモの諸要因に対する代表的な対処法”の箇所につき、次回以下の通り改定する
- ・痛み/しびれ：黄色丸（運動/リハビリテーション）と赤丸（手術）を追加
- ・関節可動域制限：赤丸（手術）を追加
- ・筋力低下/麻痺：赤丸（手術）を追加

・勤労者ロコモWGについて

- ・中村英一郎先生より、企業で働いている人がターゲットであるため現在企業で産業医として働いている方を中心に、WGの下記候補メンバーのご紹介
- ・アドバイザー：大江隆史先生
- ・委員：中村英一郎先生（産業医科大学病院 脊椎脊髄センター長）を中心に企業も参加して行っていく
- ・外部委員：
中川徹先生（日立製作所 日立健康管理センター長・前日本胸部CT検診学会理事長 放射線医）9
宮本俊明先生（日本製鉄 東日本製鉄所 統括産業医・日本産業衛生学会理事）
筒井隆夫先生（黒崎播磨 ヘルスケアプラザ 統括産業医 整形外科医）
藤野善久（産業医科大学 産業生体科学研究所 環境疫学教室 教授）
伊藤英明（産業医科大学 リハビリテーション医学講座 講師）

<その他>

・日整会広報に関して

年始より日本整形外科学会より下記広報を実施する旨報告

- ・1月1日：読売新聞 別刷り「オリパラ特集」5段広告
- ・1月1日：朝日新聞 別刷り「甲子園100周年特集」見開き10段広告
- ・2月：朝日新聞「ボンマルシェ」にて、中島理事長・宮腰先生とアンバサダー（読者モニター）による座談会の採録広告を紙面及びWEBに加え、ファミビジョンでも展開

4 外保連関係

亀山先生より報告

- ・関東整形外科勤務医会社保委員会（2023/12/16）
 - ・令和6年度診療報酬改定関連について（勤務医会からの要望）
 - ・K047 3超音波骨折治療法の適応術式に人工骨頭挿入術（肩）の追加
 - ・ガングリオン穿刺術（J116-3）ガングリオン圧砕（J116-4）に（片側）の注積をつけての算定
 - ・K098 手掌屈指筋縫合術の廃止
2023年11月20日医療技術評価分科会で一次審査
 - ・学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術858件の内、医療技術評価分科会における評価の対象となるもの：760件（3案件は全て通過）
- ・2024年度診療報酬改定率は現時点では未定
 - ・（前回は2021/12/22）
 - ・本体：0.43%+（前回は0.55%+）
その内、医科の改定率は0.26%
- ・2024年度診療報酬改定の最終審査は、1月中旬の見込み。前回は、2022年1月18日中医協総会。
- ・診療報酬改定において対応する優先度の高い技術（採択）：733件中175件（23.9%）、前回は743件中264件（35.5%）
- ・外保連試算2024の上梓
令和8年度改定のスケジュール（前半）
 - ・3月：不合理・矛盾点の意見募集
 - ・4月下旬：新設・改正・材料要望項目アンケートの依頼（簡単な内容記載）。締切まで**試算未掲載**項目の各種委員会提出・承認の可否を審議
 - ・5月7日：不合理・矛盾点の意見募集締切

- ・5月：第1回実務委員会（不合理・矛盾点より緊急要望の検討）（本年度要望書の元となる新設・改正・材料要望項目アンケートについて補足説明）
- ・6月：緊急要望提出
- ・9月30日：要望項目アンケートの締切

平泉先生より報告

- ・テレスコピックロッド供給停止に対する意見書
- ・2023年11月20日中医協資料：整形外科領域におけるKコード整理に関して
- ・医療技術の体系的な分類について

厚生労働省行政推進調査事業「リアルワールドデータ（RWD）に基づく外科手術等の高度化・多様化する医療技術の評価及びRWDの活用に資する研究」において、以下のような方針で検討を進める

1 体系化の対象とする術式の選択について

1つのKコードに対して、手術部位ごとにSTEM7が分類されている整形外科領域の一部の術式について体系化が可能と考えられたことを踏まえ、整形外科領域の同様の術式についても検証を進めるとともに、関係団体等とも連携しつつ、令和6年度診療報酬改定において検証結果に基づくKコードの体系化を検討する

2 評価方法の検討について

DPCデータの麻酔時間を用いた現状の評価方法については限界も存在することから、関係学会の保有するデータベースを補完的に利用する等、関係団体等とも連携しつつ、更なる評価方法について検討を進める

研究班において、データの利活用の観点から、DPCデータを用いて、KコードとSTEM7との突合による研究を行っており、研究班から分科会に対して報告を受けることとし、それに基づいて検討を進めることとする

- ・外保連試案2024の発刊

5 内保連関係

山縣先生より報告

- ・日整会関連では日整会が主学会として提案した四肢骨格筋量測定、ハイドロリリースの提案書が厚生労働省の医療技術評価分科会で一次審査をパスしている。また、他学会との共同提案ではロコモフレイル管理料（日本臨床整形外科医会）、がん患者リハビリテーション料（外来）（日本リハ学会）、二

次性骨折予防継続管理料：対象疾患の拡大（脊椎への拡大）（日本運動器科学会）などがあるが、来年1月末には大方の決定があるので注目。令和8年度の改訂に向けてのスケジュールは外保連と同じく2か月ほど早まる予定、新規提案など要望項目があれば内保連担当まで連絡をお願いします。

6 本日開催の第77回教育研修会

事務局/村松先生より報告

- ・日時：2023年12月16日（土曜日） 16:00～18:00
- ・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店 会議室
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目3番1号 新宿アイランドウイング11階
- ・参加費：1,000円
- ・単位取得希望者受講料：1単位1,000円
- ・マスク着用、手指消毒、間隔確保を条件として通常の開催形式で開催
- ・講演会終了後、同会場にて情報交換会開催

演題1

演者：斎藤 充先生（東京慈恵会医科大学整形外科学講座 教授）

演題名：「明日から使える骨評価AIソフトを用いた骨折1次・2次予防の戦略 —長年に安全で効果的な逐次療法とは—」

座長：伊室 貴先生（厚木市立病院）

必須分野：[4] 代謝整骨疾患、[12] 膝・足関節・足疾患、[Re] 運動器リハビリテーション

演題2

演者：井口 浩一先生（埼玉医科大学総合医療センター 外傷センター教授・外傷センター長）

演題名：「頸椎頸髄損傷に対する救命治療戦略」

座長：原 慶宏先生（武蔵野赤十字病院）

必須分野：[2] 外傷性疾患、[7] 脊椎・脊髄疾患、[SS] 脊椎脊髄病

7 次回（2024年3月）の常任幹事会

事務局より報告

- ・日時：2024年3月11日 月曜日 19:00～20:00
- ・形式：WEB（Zoom）開催

8 次々回（2024年6月）の幹事・常任幹事会、総会、教育研修会

事務局/村松先生より報告

- ・日時：2024年6月22日（土）
- ・会場：AP 東京八重洲通り（11階 K+L+N ルーム）

14:30～15:30 幹事・常任幹事会
15:30～15:50 総会
15:50～16:00 製品情報提供
16:00～18:00 第78回教育研修会 2演題

・演者候補と演題名：

演題1

演者：折田 純久先生（千葉大学整形外科フロンティア工学センター教授）

演題名：腰椎疾患関係（仮）

演題2

演者：黒住 健人先生（虎の門病院外傷センター長）

演題名：整形外科におけるBCP（Business Continuity Planning）（仮）

・座長：次回2024年3月11日（月）の常任幹事会の審議事項とする

・講演会終了後の情報交換会：未定

9 常任幹事退任

事務局より報告

・穂積 高弘先生（東京都立駒込病院勤務医会退会希望）

10 新常任幹事紹介

事務局より報告

・中尾 祐介先生（三楽病院整形外科部長）
中尾先生よりご挨拶

【審議事項】

1 2024年10月の常任幹事会の日程

・日程候補日：2024年10月21日（月）19:00～20:00
または2024年10月7日（月）19:00～20:00
・形式：WEB（Zoom）開催

→10月21日に決定、参加者の拍手をもって承認

2 2024年12月の幹事・常任幹事会、教育研修会の

日時、場所について

・日程候補日：2024年12月14日（土）または2024年12月21日（土）
・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店会議室

14:30～15:30 幹事・常任幹事会

15:40～15:50 製品情報提供

16:00～18:00 第79回教育研修会

・教育研修会：2演題

→12月14日に仮決定、会場確保を確認、参加者の拍手をもって承認

3 穂積高弘先生退会に伴う研修委員の選任

・今回は「新研修委員募集」に止め、次回の審議事項とする

4 常任幹事の推薦

候補者：福田 健太郎先生

（済生会横浜市東部病院院長補佐 整形外科部長）

推薦者：新井 嘉容先生

（済生会川口総合病院整形外科）

→参加者の拍手をもって承認

福田先生よりご挨拶

5 新幹事の推薦

・推薦者なし

6 次回の関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会

・日時：2024年3月11日（月）19:00～20:00

・形式：WEB（Zoom）開催

以上

（文責：事務局 新井嘉容）

事務局からのお願い

勤務先や住所に変更が発生した際には、事務局へのご連絡をお願いいたします。

関東勤務医会では、正確な名簿やホームページの作成および維持のためにも、みなさまのご協力をお願いいたします。

令和5年度関東地区整形外科

勤務医会 常任幹事会

議事録

日時：2024年3月11日（月曜日）19:00～20:00

方法：WEB（Zoom）開催

出席者：

阿江 啓介、浅野 聡、新井 嘉容、伊室 貴、
石橋 英明、浦部 忠久、江畑 功、大江 隆史、
大野 隆一、岡崎 真人、鎌田 修博、亀山 真、
苅田 達郎、河村 直洋、楠瀬 浩一、河野 亨、
児玉 隆夫、篠崎 哲也、進藤 重雄、田尻 康人、
辰巳 徹志、富田 善雅、中川 照彦、長瀬 寅、
新関 祐美、萩原 敬一、林 淳慈、原田 義忠、
原 慶宏、東川 晶郎、平泉 裕、平野 篤、
堀内 行雄、眞塩 清、松原 正明、三上 容司、
三原 久範、村松 俊樹、森岡 秀夫、山縣 正庸、
山本 精三、吉田 英彰、若林 良明

(43名：五十音順、敬称略)

【報告事項】

1 理事会報告

大江先生より報告

令和5年度第7・8回理事会報告の要点

第7回 2023年12月21日

- ・SICOTが2026年9月26日から10月1日まで40年ぶりに、日本で開催される。
場所は京都、会長は東大の田中教授
- ・第98回の日整会総会では口演の採択率を低く抑えているので、無断欠席の場合、次回の総会に応募できなくなるペナルティが課せられる
- ・医道審議会で処分された会員に対する学会からの除名処分の手続きが進んでいる
- ・会員カードを廃止し、スマホアプリへ移行する仕組みの導入が進んでいる

第8回 2024年1月18日

- ・メドトロ社のモルヒネ髄注用ポンプの適正使用指針の検討会に日整会から委員を派遣し、指針の作成に関与する予定
- ・全国骨軟部腫瘍登録をWEB上で行うシステムの導入

が進んでいる

- ・日整会100年プロジェクトの一環として、若い先生向けの基本手技動画の作成が進んでおり、完成すると20本以上になる見込み

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・ホームページを一部修正中
- ・本日の常任理事会終了後、第78回教育研修会講演内容を更新予定
- ・会報：6月発行の予定

3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

第156回ロコモチャレンジ！推進協議会(2023/12/20)

- ・2024年3月9日に開催する「ロコモサミット2024」の準備状況
- ・勤労者の高齢化などに対応する「勤労者ロコモWG」を産業医大の中村英一郎准教授をリーダーとして組織した。大手企業の整形外科以外の産業医の先生方が参加している

第157回ロコモチャレンジ！推進協議会(2024/1/30)

- ・整形外科以外の専門医でロコモの普及啓発に協力いただける、ロコモサポートドクターの登録、研修の仕組みをリニューアルした
- ・ロコモ年齢を人間ドックで使える仕組みを検討中
- ・2024年の人間ドック学会での共同シンポを計画中

4 外保連関係報告

亀山先生より報告

- ・第2回医療技術評価分科会（2024/1/15）で令和6年度改定要望の最終審査
中医協総会（2024/2/14）で答申
勤務医会からの要望案件の採択結果

- 1 K047 超音波骨折治療法の適応術式に人工骨頭挿入術（肩）の追加
- 2 ガングリオン穿刺術（J116-3）ガングリオン圧砕（J116-4）に（片側）の注釈をつけての算定
- 3 K098 手掌屈筋腱縫合術の廃止

→1, 2は未採択, 3は採択

整形外科領域（採択）の結果（日整会社保委員会の資料）：点数は、個別改定結果より参照
<日本臨床整形外科学会>

- ・（既）二次性骨折予防継続管理料1：算定施設要件の緩和→有床診療所の追加要望

<日本肩関節学会>

- ・(未) 肩腱板断裂手術(腱板断裂5cm未満、関節授動術を伴う)(関節鏡下)：54810点
- ・(未) 肩甲骨烏口突起移行術：27380点
- ・(既) 肩関節唇形成術(肩甲骨烏口突起移行術を伴うもの)(関節鏡下)：46370点

<日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会>

- ・(未) 大腿骨遠位骨切り術：33830点
- ・(未) 半月板制動術(関節鏡視下)：21700点

<日本人工関節学会>

- ・(未) 人工関節置換術・股関節(ロボット支援)：43260点

<日本脊椎脊髄病学会>

- ・(既) 内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算
- ・(既) 通則14の追加：内視鏡下椎間板切除術、内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎弓形成術

<日本手外科学会>

- ・(既) 手掌屈筋腱縫合術(廃止)

<日本リウマチ学会>

- ・(既) 関節リウマチ治療における生物学的製剤・JAK阻害薬に変更時の抗CCP抗体定性、定量測定
- ・(既) 成人発症スティル病に対するアクテムラ点滴療法の外來化学療法算定
- ・前回は16件、今回は10件の採択
- ・要望の採択率(学会からの提案分)は23.8%(177件/745件)で、前回の23.8%(170件/714件)と同じ。
- ・整形外科の新設での採択内容は、内視鏡手術ないしロボット手術が5件

今後の外保連行事のスケジュール

- ・要望アンケート(令和8年度改定用)の日程についてアンケートの依頼(6月→4月下旬)とアンケートの締切り(11月15日→9月30日)が早まった。
- ・整形外科領域のKコード再編は今年度改定では行わず、令和8年度改定以降に持ち越し
→DPC ツリー、加算、施設基準、法令変更の時間がないため
→外保連手術委員会より整形外科領域の術式を部位別にまとめた案がプロジェクト担当の学会に示され、引き続き検討

平泉先生より報告

- ・令和6年度診療報酬改定に向けて、外保連試2024(12月1日完成)が完成

- ・医療技術の新しい評価検討WG：ロボット支援手術の「優越性」に関するエビデンス構築のため、「既存技術と比較した優越性の根拠」を追加
- ・コーディングWG「整形外科領域のKコード精緻化・合理化プロジェクトチーム」を設置し、具体案を厚労省に答申したところ、DPC/PDPSなど多領域への影響を及ぼすため令和8年度改定での導入となった
- ・医療材料・医療機器WG：材料の実態再調査を行っていない学会に、令和6年度再調査を依頼する
- ・令和6年度の診療報酬改定の詳細は、前述の「報告内容」をご覧ください
- ・(中川照彦先生による補足) 肩関節学会の報酬改定がうまくいっているのは肩関節学会において望月智之先生を中心に学会員を対象とした独自アンケートを行いその結果を論文化していることがその理由と考えられる
- ・東京都医師会 診療報酬改定説明会(東京都医師会館)開催案内
4月25日(木)18時30分～20時、
講師：平泉 裕先生

5 内保連関係報告

石橋先生より報告

- ・日整会、あるいは臨床整形外科学会、運動器科学会から、未収載、既収載含めて13項目が要望提出されたが、最終審査を通ったのは、二次性骨折予防継続管理料1：算定施設要件の緩和(有床診療のみ算定できるようにする)のみであった

山縣先生より報告

- ・令和6年度診療報酬改定 リハビリテーション関連での改定

1 リハビリテーションに係る医療介護情報連携の推進、リハビリテーション実施計画書提供料を廃止：マイナス275点

- ・計画書の提出・連携は当然しておかなければならないものとなった

2 リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算：120点

3 急性期リハビリテーションの新設50点

- ・ADL・認知機能が低い患者、感染対策を必要とする患者に加算がついた

4 回復期リハビリテーション入院料1が2129点→2229点に増点

- ・ただし、これまであった体制強化加算200点

は廃止 マイナス 200 点
5 回復期リハビリテーション病棟における運動器
リハの算定単位数の見直し
・これまで最大 9 単位まで算定可能であったが、
6 単位までとなった

6 次回 6 月の幹事・常任幹事会、総会、教育研修会
事務局と村松先生より報告

- ・日時：2024 年 6 月 22 日（土）
- ・会場：AP 東京八重洲通り（11 階 K+L+N ルーム）
14:30～15:30 幹事・常任幹事会
15:30～15:50 総会
15:50～16:00 製品情報提供
16:00～18:00 第 78 回教育研修会
2 演題（講師控室：N ルーム）
- ・演者候補と演題名：

演題 1

演者：折田 純久先生（千葉大学フロンティア工学
センター 千葉大学大学院整形外科科学教授）

演題名：腰痛を取り巻く現状と次世代環境

必須分野：[7] 脊椎・脊髄疾患 [SS] 脊椎脊髄病

演題 2

演者：黒住 健人 先生（国家公務員共済組合会虎の
門病院 外傷センター部長）

演題名：整形外科医が知っておくべき BCP (Business
Continuity Planning)

必須分野：[14-5]

- ・座長：審議事項へ
- ・研修会終了後 情報交換会開催予定（M 会場）

7 次々回 10 月の常任幹事会の日程

- ・日程候補日：2024 年 10 月 21 日（月）19:00～20:00
- ・形式：WEB (Zoom) 開催
日整会代議員候補関連の審議予定

8 その他

大江先生より報告

- ・「関東整形外科勤務医会の新任常任幹事は、各地域の
勤務医会にも加盟するように」との依頼がなされた

【審議事項】

1 次回 6 月の第 78 回教育研修会の座長（事務局案）

- ・講演 1：中尾 祐介先生（東京都教職員互助会三楽
病院 整形外科部長、脊椎脊髄センター長）
- ・演題 2：山本 精三先生（国家公務員共済組合連合
会 虎の門病院 整形外科特任部長）

→異議なく、全員一致で承認（ZOOM の為、画面上拍手
にて確認）

2 次々回 12 月の幹事・常任幹事会、第 79 回教育研
修会の日程ならびに演者の選定（事務局案）

- ・日時：2024 年 12 月 14 日（土曜日） 14:30～18:00
- ・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店
会議室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目 3
番 1 号新宿アイランドウイング 11 階

- 14:30～15:30 幹事・常任幹事会
- 15:40～15:50 製品情報提供
- 16:00～18:00 第 79 回教育研修会 2 演題

・演者候補と演題名

講演 1

演者：松坂 俊先生（飯塚病院 医療連携・緩和医
療科）

演題名：壊死性筋膜炎について（仮）

講演 2

演者：田中 伸哉先生（JCHO さいたま北部医療セン
ター地域連携室長 整形外科診療部長）

演題名：骨粗鬆症関係（仮）

→異議なく、全員一致で承認（ZOOM の為、画面上拍
手にて確認）

3 研修委員交代（事務局案）

- ・鎌田先生 退任の申し出、穂積先生 帰郷の為退任
(旧) (新)

鎌田 修博 先生 → 岡崎 真人 先生
(伊勢原協同病院) (河北総合病院)

穂積 高弘 先生 → 原 慶宏 先生
(都立駒込病院) (武蔵野赤十字病院)

→異議なく、全員一致で承認（ZOOM の為、画面上拍
手にて確認）

・承認後、お二人からご挨拶

・今回の承認により、本来、年度変わりからの就任
であるが、研修委員運営上、4 月からとする

4 新常任幹事の推薦

・該当者なし

5 新幹事の推薦

・該当者なし

6 その他

研修委員長 村松先生より

- ・「教育研修会開催時期における 1 年先の日程確保」

の要望があった

- ・背景に、昨今、演者の依頼に際して、スケジュールの確保が厳しい。この為、有益な演者確保の為、医会の日程を早めに決めていただく事が、演者選定に於いて有用であるとの理由

→異議なく、今後は1年先の日程を確保していくことで出席者の理解を得た

7 次回関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会

- ・日時：2024年6月22日(土) 14:30~15:30
- ・会場：AP 東京八重洲通り

以上

(文責：事務局 新井嘉容)

事務局から

5月23日より26日まで福岡にて日本整形外科学会の総会が開催されました。思い返せば、2020年に福岡で開催予定でしたがWEB開催に変更されました。横浜で開催された昨年は、コロナ感染症が2類から5類に移行された直後のため、マスクを着けての参加でありました。今年は、好天にも恵まれ多くの参加者により活気を取り戻しておりました。そして、以前は重たい抄録集を持参しておりましたが、MICE naviの充実により手荷物が軽くなり、食品ロスを減らすためのお弁当配布方法の変更など学会の進化を実感いたしました。

また、今年は2年に一度の診療報酬改定が実施されました。平泉先生に変更点を中心に詳細にご執筆をいただきましたことに厚く御礼申し上げますとともに、会員のみなさまの診療の一助となれば幸甚であります。

(文責：伊室 貴)



TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

Saccura
Spinal System

より幅広い症例で使用できるように
新たにフックとオフセットフックが追加されました。
これからも日本人に適した製品を提供していきます。

帝人ナカシマメディカル株式会社
〒709-0625 岡山市東区上道北方688-1
TEL. 086-279-6278 FAX. 086-279-9510

販売名:Saccuraスパイナルシステム(滅菌品)
医療機器製造販売承認番号:30100BZX00100000

第78回 日整会認定教育研修会

関東地区整形外科勤務医会では、下記の通り幹事会、総会および教育研修会を開催いたします。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。

記

日 時：令和6年6月22日（土曜日）

会 場：AP 東京八重洲 11F（都合により階が変更になることがあります）

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7

TEL 03-6228-8109

幹事・常任幹事会：14:30～15:30

総会：15:30～15:50

教育情報提供：15:50～16:00 帝國製薬（株）製品情報室

教育研修会：16:00～18:00

【演題Ⅰ】

座長：東京都教職員互助会三楽病院 整形外科部長 脊椎脊髄センター長
中尾 祐介先生

演題名：「腰痛を取り巻く現状と次世代環境」

演者：千葉大学フロンティア工学センター 千葉大学大学院整形外科学 教授

折田 純久 先生

必須分野番号 [7], [SS]

【演題Ⅱ】

座長：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 整形外科特任部長

山本 精三 先生

演題名：「整形外科医が知っておくべきBCP (Business Continuity Planning)」

演者：国家公務員共済組合会虎の門病院 外傷センター 部長

黒住 健人 先生

必須分野番号 [14-5]

会場費：¥1000（参加者一律）

受講料：1題 ¥1000（単位取得者のみ）

懇親会：状況により任意参加の形式で準備を進めております

参加事前申込先：新井 嘉容 済生会川口総合病院 整形外科

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

TEL 048-253-1551

共 催：関東地区整形外科勤務医会

帝國製薬株式会社

関東地区整形外科勤務医会 入会申込書

令和 年 月 日
フリガナ _____
御氏名 _____
生年月日 昭和・平成 年 月 日
現住所 〒 _____

TEL _____
勤務先名称 _____
勤務先住所 〒 _____

TEL _____
メールアドレス _____
役職名 _____
出身大学 _____
卒業年次 昭和・平成・令和 年
出身教室 _____

入会申し込み送り先

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

埼玉県済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会事務局代表 新井 嘉容

TEL 048-253-1551

FAX 048-256-5703

E-Mail kanto.orth@gmail.com

フィジール
PHYSEEL

サスティーン
褥瘡予防やMDR P U対策に最適

株式会社 **イソメディカルシステムズ**

HIPFORTRESS-ND

HIPFORTRESS-NDシステムは、15年以上の歴史をもち、機能的評価、X線評価において、短期・中長期で素晴らしい臨床成績を取っているフル HA コーティングが施されたテーパ形状の人工股関節です。セルフロック原理に基づいたテーパデザインにより、埋植が容易で術後早期の回転や沈みに対する安定性が高くなっており、ハイグレードチタンプラズマスプレーコーティングと HA コーティングのダブルコーティングにより、骨伝導性に優れ、初期安定性の向上が期待されます。このような特長により、無菌性ルースニングによるリビジョン率が大変低いデザインとなっています。

保証された固定力

10年でのサブパルレート99%
埋植5年後以降のリビジョンは無い

埋植されたステムの周囲

チタンとHAのダブルコーティング

HAコーティングの長寿命化による
9100000の拡大写真

販売名: HIPFORTRESS-ND セメントレスシステム 医療機器承認番号: 22400BZX00478000
販売名: HIPFORTRESS-ND セメントシステム 医療機器承認番号: 22400BZX00466000

Plasma Technology
Amine modification

e = Bone®

アミン基修飾による
骨形成活性が期待されます

細胞接着 促進

骨芽細胞分化 促進

骨形成 促進

製品仕様

成分: β 型リン酸三カルシウム (β -TCP 80 \pm 3% / HA 20 \pm 3%の二相性リン酸三カルシウム)
薬液、炭素
気孔率: 65~75%
強度: 平均30MPa

標準品承認番号: 20200BZX0011000
登録名称: 吸収性再生医療材料
販売名: イーボン

株式会社 **Aimedic MMT**
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズテラス
URL: <http://www.aimedictmt.co.jp/>



Persona® Knee System

No Compromise

様々な患者さんに適合するインプラントを目指して

Persona®人工膝関節システムは、術後の機能低下をより改善させるために、生体膝に基づいたアナトミカル形状にデザインされています。

- ・ AP長 2mm間隔の大腿骨コンポーネント、厚み 1mm間隔のサーフェイス
- ・ スタンダード及びナローサイズを含めた 21種類の大腿骨コンポーネント
- ・ 高い骨被覆率のための内外側非対称脛骨コンポーネント



販売名：Persona PS セメントシステム / 承認番号：225008ZX00384000 / 高度管理医療機器 / 全人工膝関節 / 人工膝関節 KF-2、KT-6、KI-11
販売名：Persona CR セメントシステム / 承認番号：225008ZX00385000 / 高度管理医療機器 / 全人工膝関節 / 人工膝関節 KF-2、KI-11
販売名：Persona Vivacit-E CR サーフェイス / 承認番号：226006ZX00189000 / 高度管理医療機器 / 人工膝関節脛骨コンポーネント / 人工膝関節 KI-12

【禁忌・禁止】、【使用目的又は効果】、【使用上の注意】、及び不具合・有害事象等の情報については、本製品の添付文書をご参照いただくか、弊社営業担当者までご連絡ください。製品のさらなる最新の情報は、<https://www.zimmerbiomet.com/ja>にてご確認ください。



ZIMMER BIOMET

ジンマー バイオメット <https://www.zimmerbiomet.com/ja>

本社 〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目11番1号 住友不動産芝公園タワー15階
Tel. 03-6402-6600 (代)

かけがえない命の手助け…



より良き健康と医療を目指して

サンメディックス株式会社

本社 〒104-6136

東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエアY棟36階
TEL 03-5144-0855(代) FAX 03-5144-0850

- | | | | | | |
|------------------------------------|-----------------|---------------------------------|----------------------|---------------------------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> 東京第一支店 | 〒179-0075 | 東京都練馬区高松6-35-15 | TEL: 03-5923-6235(代) | FAX: 03-5393-3057 | |
| <input type="checkbox"/> 東京第二支店 | 〒130-0014 | 東京都墨田区亀沢4-17-12 | TEL: 03-5619-4551(代) | FAX: 03-6859-0016 | |
| <input type="checkbox"/> 東京第三支店 | 〒168-0063 | 東京都杉並区和泉1-22-19 | TEL: 03-6680-0460(代) | FAX: 03-6680-0538 | |
| <input type="checkbox"/> 多摩支店 | 〒187-0004 | 東京都小平市天神町1-9-27 | TEL: 042-348-5011(代) | FAX: 042-348-5015 | |
| <input type="checkbox"/> 千葉支店 | 〒261-0023 | 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 | TEL: 043-296-1063(代) | FAX: 043-296-1067 | |
| <input type="checkbox"/> 川崎支店 | 〒216-0005 | 神奈川県川崎市宮前区土橋1-21-5 | TEL: 044-870-6377(代) | FAX: 044-866-3813 | |
| <input type="checkbox"/> 横浜支店 | 〒240-0005 | 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 | TEL: 045-348-7260(代) | FAX: 045-348-7261 | |
| <input type="checkbox"/> 相模原支店 | 〒252-0334 | 神奈川県相模原市南区若松1-1-3 | TEL: 042-767-3771(代) | FAX: 042-767-3773 | |
| <input type="checkbox"/> 厚木支店 | 〒243-0016 | 神奈川県厚木市田村町11-20 | TEL: 046-296-2822(代) | FAX: 046-222-1563 | |
| <input type="checkbox"/> 宇都宮支店 | 〒320-0074 | 栃木県宇都宮市細谷町388-1 | TEL: 028-616-1580(代) | FAX: 028-623-7350 | |
| <input type="checkbox"/> とちぎ支店 | 〒329-4404 | 栃木県栃木市大平町富田石川5100番3 | TEL: 0282-45-3701(代) | FAX: 0282-44-0891 | |
| <input type="checkbox"/> 首都圏物流センター | 〒144-0042 | 東京都大田区羽田池町11-1 羽田クロノゲート内 | TEL: 03-5735-7111(代) | FAX: 03-3743-8811 | |
| <input type="checkbox"/> 水戸営業所 | 029-305-6125(代) | <input type="checkbox"/> 埼玉営業所 | 048-640-6621(代) | <input type="checkbox"/> 長野営業所 | 026-229-8030(代) |
| <input type="checkbox"/> 筑波営業所 | 029-850-5185(代) | <input type="checkbox"/> 埼玉西営業所 | 0493-21-7310(代) | <input type="checkbox"/> 松本営業所 | 0263-24-1125(代) |
| <input type="checkbox"/> 前橋営業所 | 027-280-4433(代) | <input type="checkbox"/> 山梨営業所 | 055-242-0301(代) | <input type="checkbox"/> 名古屋営業所 | 052-218-2735(代) |

URL : <https://www.sunmedix.co.jp>



stryker

Insignia[®]

Femoral Hip Stem

インシグニア人工股関節ステム

継承された伝統、
新たなステージへ

実績を継承したデザイン

従来製品の特長を生かしながら、近年増加する筋温存型前方アプローチでの容易な操作性を考慮したデザイン

ダイレクトラテラルオフセット

ハイオフセットの選択により、脚長を維持しながらオフセットだけを調節可能

Tri-Stage™ Broach

骨形態の分析から生まれたブローチで、再現性の高いステム設置が可能



※本製品に関するお問合せは、弊社営業までお願いします。

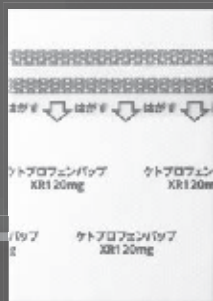
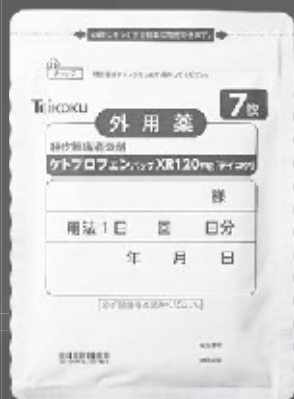
医療機器承認/届出番号	販売名
30500BZX00244000	Insignia Hip ステム
13B1X10209000801	関節手術用器械III

Literature Number: HE09-019L
Copyright © 2024 Stryker

製造販売業者
日本ストライカー株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

TEIKOKU

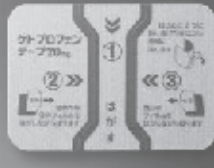
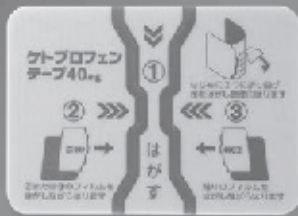
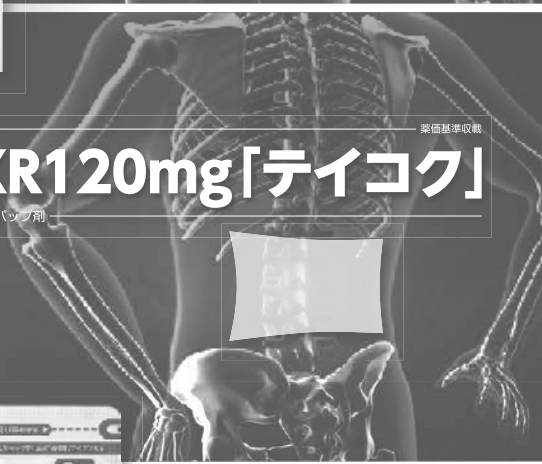


経皮鎮痛消炎剤

薬価基準収載

ケトプロフェンパップXR120mg「テイコク」

KETOPROFEN Paps XR120mg [TEIKOKU] ケトプロフェンパップ剤



経皮鎮痛消炎剤

薬価基準収載

ケトプロフェンテープ[®]S20mg「テイコク」 40mg「テイコク」

KETOPROFEN Tapes S20mg・40mg [TEIKOKU] ケトプロフェンテープ剤

製造販売元

帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地

〈製品情報お問い合わせ先〉

医薬営業部 製品情報室

TEL: 0120-189-567

受付時間/月~金 9:00~17:30(祝日、当社休日を除く)

https://www.teikoku.co.jp/med_database/

- 効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については、電子添文をご参照ください。

2024.5作成